

(様式 3 - 1) 申立内容と調査結果

(様)

開札日	令和 8 年 1 月 19 日		
案件名	道路改良工事		
申立内容		調査結果	
(1) 単 11 号転落(横断)防止柵について設計書においては、支柱間隔が 2.0m(単価補正 1.958)とされていますが、図面・数量計算書および設計書使用材料積み上げ資材では、支柱間隔が 3.0m(単価補正 1.35)であり誤りである。		(1) 支柱間隔が 3.0mの単価に対して 2.0mの施工歩掛となっています。	
(2) 単 12 号自由勾配側溝について、資材単価の優先順として奈良県土木単価表(300 * 300 * 2000T-20.25※10900 円/個)が採用されていない理由と、県土木資材単価と本工事に使用する資材の相違についてご説明願います。また、閲覧時に確認した見積書の資材重量(322 kg)と数量計算書の参考重量(349 kg)の相違についてご教授願います。		(2) 奈良県単価を採用していないのは誤謬であり、使用する資材の相違はありません。参考重量については数量計算書が誤りで正しくは 322 kgです。	
(3) 単 21 号、単 33 号について令和 7 年度土木工事設計資材単価表(奈良県県土マネジメント部)土木工事及び業務委託の積算に用いる材料費及び歩掛の取扱要領 4、物価資料により設計単価を決定する場合の取扱いによると(建設物価 10725 円)(積算資料 10790 円)/2 =10757.5 円であり、奈良県土木単価としては 10757 円である。バックホウの単価が 10800 円採用となった根拠についてご教授願います。		(3) 奈良県の積算システムの登録単価を採用しています。	
(4) 単 24 号上層路盤(車道・路肩部)について、施 13 号の構成比は「下層路盤」の内容となっており、上層路盤の積み上げがされていない。		(4) 上層路盤の積上構成比が誤謬であり、下層路盤の構成比となっています。	